

湯けむり国スポに向けた競技力向上対策①

資料 1

湯けむり国スポに向けた競技力向上対策として

群馬県スポーツ競技力向上対策推進本部を設立

設立総会：令和 7 年 3 月 19 日（水）

- Point 01 未来に残す強化方針の検討・合意形成 を推進
- Point 02 「仕組みづくり」と「順位の向上」の実現
- Point 03 トップ＝知事 教育委員会・市町村・企業・団体・協会と連携協力

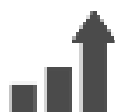
目 標

総合優勝



目 的

仕組みづくり
成績向上



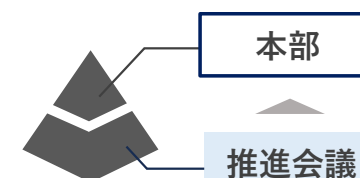
役 割

オール群馬の
協力体制



組 織

ボトムアップ



湯けむり国スポに向けた競技力向上対策②

資料 1

ALL群馬の連携を進める 3 層構造

- 関係団体の協力で、選手強化を推進
- 外部アドバイザーも加え、事業の企画・調整

- 指定強化選手制度 □ YAOP（ジュニア海外派遣）
- 拠点校制度 □ 拠点クラブ制度 等

推進本部 [意思決定・共有]

59名 1回/年

推進会議 [企画・調整]

219名 3回/年

月例会議 [事務局]

18名

月例会議 メンバー

スポーツ振興課

健康体育課

特別支援教育課

スポーツ協会

中体連事務局

高体連事務局

推進本部	所属団体等（会長職が役員）
本部長	知事
副本部長	県スポーツ局長・県教育長
（県議会）	県議会議長
（学校）	中体連・高体連・市町村教育委員会連絡協議会
（市町村）	群馬県市長会・町村会
（スポーツ）	スポーツ協会・パラスポーツ協会
（商工団体）	商工会議所連合会・商工会連合会・中小企業団体中央会
（民間企業）	経営者協会
（医療）	医師会・歯科医師会・薬剤師会
（競技団体）	41競技団体

推進会議	委員／所属機関・団体及び役職
県スポーツ局長・スポーツ振興課長・湯けむり国スポ・全スポぐんま準備課長	
教育委員会事務局次長（指導担当）	
（教）学校人事課長・（教）健康体育課長・（教）特別支援教育課長	
スポーツ協会理事長・スポーツ協会選手強化委員長・パラスポーツ協会事務局長	
中体連理事長・高体連理事長・高体連強化部長	
特別支援学校校長会会長・特別支援学校体育連盟会長	
学識経験者（元前商校長）・県理学療法士協会・県栄養士会	
学識経験アドバイザー（育英大学レスリング部監督）	
学識経験アドバイザー（京都トレーニングセンター・医科学研究員）	
35市町村 体育・スポーツ主管課長	
41競技団体 理事長・ダイレクター・国スポヘッドコーチ・医科学担当者	

湯けむり国スポ・全スポに向けた競技力向上対策③

資料 1

湯けむり国スポに向けた強化策

4億円 (+1.6億円)

YAOP【ジュニア海外派遣】

Young Athletes Overseas Program

4千万円 (新規)

中・高生の海外合宿補助
プレゼン方式 1/2補助・上限500万円

▶ **GRIT※・高い技術の獲得**
早期の**高い目標設定**

※やり抜く力: **Guts** (度胸) **Resilience** (復元力)
Initiative (自発性) **Tenacity** (執念)



強化指定選手制度

6千万円 (新規)

有望人材を推薦により**直接**支援
ワンランク上への**挑戦資金**

▶ **選手ニーズ**にマッチした強化
トップを「**トップofトップ**」へ

S	全国大会優勝	30	(万円)
A	2位~4位	10	
B	5位~8位	5	
C	関東大会3位以内	—	
指導者	Sを指導	10	

スタージュニア事業

1.8千万円 (新規)

スーパーキッズ事業の15競技が
中学生まで延長

▶ **指導一貫体制**の構築
競技の継続をサポート

スケート	水泳	陸上	レスリング	バレーボール
スキー	馬術	ゴルフ	ボウリング	アーチェリー
サッカー	空手	自転車	ボクシング	トライアスロン

スポーツ医・科学活用事業 本格化

- **アナリスト契約**
 - **医・科学アドバイザー契約**
 - **民間活用**
- ▶ データを収集・分析・評価し、練習クオリティが向上

湯けむり全スポぐんまに向けた普及拡大策

令和7年3月19日
群馬県地域創生部
スポーツ局スポーツ振興課

資料2

スポーツを通じた共生社会の実現 へ向けた パラスポーツ振興のビジョン

01

湯けむり全スポぐんま2029
を契機としたパラスポーツ普及拡大

【指標】全国障害者スポーツ大会
群馬県選手団出場競技数

R6

湯けむり全スポぐんまに向けた
競技人口拡大

- 大会開催 ■強化練習 ■体験会
- 団体競技チーム結成・強化

実績

個人 7 競技のみ



R11目標

全14競技

全スポのレガシー
として
全競技活動継続

R22

スポーツを通じた
共生社会の実現

02

健常者と障害者が
一緒にスポーツを楽しむ場の創出

【指標】県民アンケート
パラスポーツを一度も体験したことがない割合

民間活力を取り入れたイベントの継続実施

- 民間企業との連携 ■プロスポーツとの連携 ■市町村の取組支援

現状

83.1%

R11目標

40.0%

R22目標

0.0%へ

湯けむり全スポぐんまに向けた普及拡大策

令和7年3月19日
群馬県地域創生部
スポーツ局スポーツ振興課

資料2

目標：正式競技 **全14競技** 出場

POINT
01

ぐんまパラスポーツ普及メンター **増員**

1名を **3** 名へ 課題解消へ向けた取組を**加速**

R7年度目標

個人競技

▶ **発掘・育成** **7** 競技

団体競技

▶ チーム**結成** **2** 競技
チーム**強化** **6** 競技

POINT
02

県内関係機関との**連携強化**

オール群馬で普及拡大を**加速**

競技力向上対策推進本部



✓ step01

選手発掘

✓ step02

体験会・練習会
団体競技チーム結成・強化

✓ step03

大会出場

✓ step04

全スポ出場



湯けむり全スポぐんま2029
2029 Gunma Sports Festival for People with a Disability

令和7年度 競技団体実施事業一覧

No.	項目 団体名	(1)組織対策				(2)選手・指導者育成対策					(3)ジュニア対策		計（12項目）	
		ダイレクター設置	国スポヘッドコーチ設置	医科学担当者設置	法人化支援事業	競技団体強化事業	スポーツテック活用事業	強化指定選手指導者制度	海外ジュニア選手派遣事業	メディカルサポート事業	指導者資格取得助成事業	スーパードキーズプロジェクト		スタージュニアプロジェクト
1	スケート	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	11
2	アイスホッケー	○	○	○		○	○				○	○	○	8
3	スキ	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	11
4	陸上競技													調整中
5	水泳	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
6	サッカー	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
7	テニス	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		10
8	ローイング	○	○	○	○	○	○	○		○	○			9
9	ホッケー	○	○	○		○	○			○	○			7
10	ボクシング	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	10
11	バレーボール	○	○	○	○	○	○	○		○		○		9
12	体操	○	○	○		○	○	○		○	○	○		9
13	バスケットボール													調整中
14	レスリング	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	
15	セーリング	○	○			○	○				○			
16	ウエイトリフティング	○	○	○		○	○	○		○	○			8
17	ハンドボール	○	○	○		○	○	○		○	○			8
18	自転車競技	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	11
19	ソフトテニス	○	○	○		○	○	○		○	○			8
20	卓球	○	○	○		○	○			○	○			7
21	野球	○	○	○		○								4
22	相撲													調整中
23	馬術	○	○	○		○		○				○	○	
24	フェンシング	○	○			○		○			○			
25	柔道	○	○	○		○		○				○	○	7
26	ソフトボール	○	○			○		○			○			5
27	バドミントン	○				○								2
28	弓道	○	○			○								3
29	ライフル射撃	○	○	○		○		○						5
30	剣道	○	○	○		○		○		○	○			7
31	ラグビーフットボール	○	○	○		○				○	○			6
32	山岳・スポーツクライミング	○	○	○		○	○	○		○		○		8
33	カヌー	○	○	○		○	○	○		○				7
34	アーチェリー	○	○	○		○	○	○				○	○	8
35	空手道	○	○	○		○		○				○	○	7
36	銃剣道	○	○			○					○			4
37	クレー射撃	○	○	○	○	○		○		○	○			8
38	なぎなた	○	○	○		○	○			○				6
39	ボウリング	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	10
40	ゴルフ	○	○	○		○	○	○				○	○	8
41	トライアスロン	○	○	○		○	○	○		○	○	○		9
	計(41団体)	38	37	32	4	38	25	28	6	24	24	19	14	平均

群馬県指定選手・指導者活動支援制度 設置要項

1 目的

2029年に群馬県で開催される第83回国民スポーツ大会において総合優勝を獲得するため、活躍が期待される選手・指導者を指定し、その活動を支援することにより本県選手の競技能力の向上を目指すと共に、スポーツ活動に取り組める環境を整えるための支援をする。

2 指定基準

- (1) 全国大会等の成績に基づき、推薦基準(1)に掲げるランク別に指定する。
- (2) 対象者は、次のすべての要件を満たす者とする。
 - ① 優秀な競技能力を有する中学生以上の選手・チーム及び指導者。
 - ② 第83回国民スポーツ大会での優勝を目指し、群馬県代表として国民スポーツ大会に出場する意思のある者。

3 指定期間

指定年度4月1日より、翌年3月31日までとする。

4 指定方法

公益財団法人群馬県スポーツ協会(以下、「県スポーツ協会」という。)並びに群馬県スポーツ競技力向上推進本部(以下、「推進本部」という。)の推薦を受け、推進本部で決定し、推進本部長名で指定する。

5 推薦方法

県スポーツ協会は、加盟競技団体及び学校体育団体(以下「加盟団体等」という)からの推薦に基づき推進本部へ推薦を行う。(ただし、国民スポーツ大会正式競技に限る。)

加盟団体等は、成績を証明する書類及び大会要項を添付したうえで推薦書を県スポーツ協会あてに提出する。また、上記の推薦以外で該当する者がいる場合、推進本部が推薦することができる。

6 指定後の支援

- (1) 指定者を推進本部、県スポーツ協会並びに当該競技団体等が実施する強化事業に積極的に参加させる。
- (2) ランク別に定めた活動支援金額を競技団体に対し支給する。
- (3) スポーツ協会が実施するメディカルチェック・体力・筋力測定等の費用を免除する。
- (4) 指定者としての自覚と誇りを持たせるため、指定証を発行する。

7 実施上の留意点

- (1) 推進本部は強化計画の立案・実施にあたって、学校教育活動及び職場等における業務に支障がないよう、あらかじめ学校、企業体等の所属長及び選手の保護者と綿密な連携をとり、事業の趣旨を十分理解させるなどの配慮をする。
- (2) 選手強化の実施にあたっては、自覚と責任の涵養に努めるとともに、非教育的行為が発生しないように配慮する。
- (3) 公序良俗に反する行為があったときは、指定を取り消すこととする。

群馬県指定選手・指導者活動支援制度 推薦基準

1 指定の方法

(1) 指定におけるランク基準は次のとおりとする。

ランク	成績条件	活動支援上限金額
S	全国大会優勝以上	30万円
A	全国大会2位～4位	10万円
B	全国大会5位～8位	5万円
C	関東大会3位以内	—
指導者	Sランク選手及びチームを日常指導している主たる指導者	10万円

(2) 競技団体は、成年種別及び少年種別（中・高体連が所管する少年種別は除く）について推薦するものとする。

(3) 中・高体連は、当該選手の学校長の内諾を得たうえ推薦するものとする。

(4) 選手・指導者の指定は、次のとおりとする。

① 強化指定選手

上記ランク基準に該当する選手。ただし、チーム及び団体競技は該当する大会の競技人数とする。

② 強化指定指導者

Sランク選手及びチームを日常指導している主たる指導者

(5) 指定対象となる大会期日は、推薦年度の前年1月から12月末日までとする。

但し、冬季競技（スケート・アイスホッケー・スキー）については、前年4月から当年3月末日までとする。

(6) 全国大会とは、国民スポーツ大会、全日本選手権大会、全国高等学校選手権大会、全国中学校体育大会、全日本学生選手権大会及び全日本ジュニア選手権大会等とする。ただし、上記大会のない競技については、これに準ずる国内最高権威の大会とする。

2 活動支援金の決定等

推進本部は、推薦者数に応じて予算の範囲内で活動支援金額を決定する。

なお、活動支援金の申請及び報告は推進本部の定める様式において競技団体が行う。

3 推薦の方法

県スポーツ協会ホームページから推薦書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ令和7年2月末日まで県スポーツ協会に提出する。

4 その他

推進本部及び県スポーツ協会は指定選手及び指導者が十分な活動ができるよう支援する。

ジュニア選手海外派遣支援事業実施要項

1 目 的

群馬県のジュニア選手が海外のスポーツチームや選手と交流することで世界レベルの競技力や文化に触れる機会を創出する。ジュニア選手が早い時期から海外経験をすることでトップアスリートに必要な資質に気づき改善していく力を育成することを目的とする。本事業は、通称：YAOP（Young Athletes Overseas Program）と呼ぶ。

2 内 容

- (1) 補助金額 1 団体上限 5,000,000 円
(ただし、複数の競技種目がある場合には、1 団体上限額はこの限りでない)
- (2) 補助率 1/2 補助
- (3) 支援内容 海外遠征費（旅費、宿泊費を基本とする）
旅行会社（代理店）等を通じて旅行手配をすることが望ましい。
証拠書類は業者の領収書とする。

3 対 象

(公財) 群馬県スポーツ協会加盟競技団体国民スポーツ大会実施種目 4 1 競技派遣する選手は、原則中学生・高校生年代とする。
また選手団には指導者及び医科学担当者等のスタッフの派遣もできることとする。

4 申 請

スポーツ振興費補助金（競技力向上対策費）に係る申請時に提出のこと。
原則、補助金の申請にあたっては、各競技団体に設置されているダイレクターがとりまとめの上、申請を行うこととする。
申請時に必要な様式は以下のとおり
ア) ジュニア選手海外派遣支援事業申請書兼旅行計画書（様式 1-9）
イ) ジュニア選手海外派遣支援事業補助金交付申請書（様式 1-10）

対象事業の選考にあつては原則、競技団体からのプレゼンテーションで決定する。
その際は、別途群馬県スポーツ競技力向上対策推進本部（以下「推進本部」）から連絡を行う。

5 実施期間

旅行期間が令和 7 年 4 月 1 日（火）～令和 8 年 3 月 31 日（火）までのものに限る。

6 事業報告

実績報告に必要な様式は以下のとおり
ア) ジュニア選手海外派遣支援事業実績報告書（様式 1-11）

ジュニア選手海外派遣支援事業（令和7年度YAOP実施競技団体一覧）

競技団体	派遣地域	内容
1 スケート	アメリカ (ソルトレイクシティ)	・ジュニア選手20名程度 ・約3週間（夏季休業に実施） ・標高1,100mにある高速リンクにおいて、スポーツテックを活用したトレーニング
2 スキー	中国 (張家口市)	・ジュニア選手10名程度 ・約3週間（秋期から冬期に実施） ・国内ではゲートトレーニング不可の時期の早期練習 ・全日本ナショナルチーム、海外チームとの合同練習
3 水泳（競泳）	オーストラリア (ゴールドコースト)	・ジュニア選手16名 ・11日間（冬季休業に実施） ・海外の強豪チームとの試合や練習・交流を通して、他国の革新的なトレーニング方法、高いレベルの技術や戦術を体感し、競技力の向上につなげる。
水泳（水球）	ギリシャ (アテネ)	・ジュニア選手20名程度 ・6日間（冬季休業に実施） ・海外強豪チームと試合をすることで、実践的な経験を積み、競技力向上を目指す。
4 サッカー	韓国	・ジュニア選手32名 ・4日間（春季休業に実施） ・国際経験を積むことで、サッカー選手としての技術だけでなく「国際的視野」を獲得する機会を提供する。
5 テニス	アメリカ (グアム・サイパン)	・ジュニア選手4名 ・23日間（春季を予定） ・Guam World Tennis Tour 1という大きな大会にチャレンジする。
6 自転車	ベルギー	・ジュニア選手1名 ・1か月間（夏季を予定） ・トッププロへの登竜門として確立されているツール・ド・ラヴニールへ挑戦するプロジェクトに参加する。